

令和 2 年度 第 2 回朝霞市博物館協議会次第

日 時 令和 3 年 2 月 2 5 日 (木)
午後 2 時～
場 所 朝霞市博物館 講座室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 正副会長選出
- 4 議 題
 - (1) 令和 2 年度事業報告
 - (2) 令和 3 年度事業計画
 - (3) その他
- 5 閉 会

※閉会后、お時間がございましたら、ぜひ、ギャラリー展示「午房地山と武蔵野台地の横穴墓」を御観覧ください。

令和2年度 第2回博物館協議会
資 料

日 時 令和3年2月25日(木) 午後2時

会 場 朝霞市博物館 講座室

令和 2 年度事業報告

令和2年度(2020年度)博物館事業報告

令和2年(2020年)4月1日(水)～令和3年(2021年)1月31日

1 令和2年度利用統計

令和3年2月1日現在

年 度	開館日数	入館・利用者数 (団体含)	学校団体		一般団体	
			団体数	人 数	団体数	人 数
令和2年度 (～1月末日)	196日	12,535人	1	6人	10	61人
令和元年度	206日	31,770人	36	2,924人	170	1,777人
平成8～30年度	6,313日	1,103,348人	859	64,525人	2,741	36,576人
合 計	6,715日	1,147,653人	896	67,455人	2,921	38,414人

2 令和2年度事業報告

※展示の参加者数は入館・利用者数から出張事業人数を除いたもの

事業名		趣 旨・内 容	対 象	日 程・講 師	参加者数 (人)
常設展示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、 遺跡とその出土品、川越街道 と膝折宿、舟運と東上線、水車 利用の伸銅を取り上げ、エポ ック展示として紹介する。	—	通年	12,535
	民俗分野 「むかしの暮らし」	昭和30～40年代頃のくらしの 風景や道具を紹介する。	—	①4月1日(水) ～12月15日(火) ②令和3年 1月30日(土) ～3月31日(水)	①10,602 ② 234 のべ 10,836
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像 を取り上げ紹介する。	—	①4月1日(水) ～7月19日(日) ②令和3年 1月30日(土) ～3月31日(水)	①2,430 ② 234 のべ 2,664
企画 画35 展回	黒目川左岸の弥生時 代～西久保・宮山遺 跡とその周辺～	小規模な調査が散発的に行わ れているため全体像の把握が 難しい黒目川左岸の弥生時代 の様相について、これまでの 調査結果の一旦のまとめを試 みる。	—	10月10日(土) ～11月23日(月・祝)	中止
丸沼芸術の森コレクション「朝霞にファン・ゴッホ！ー 日本初公開の水彩画に観るファン・ゴッホの新たな魅力 ー」ファンゴッホ、シスレー、シャガール、珠玉の三選 特別展示			—	令和3年 1月16日(土) ～1月24日(日)	中止 (開催延期)

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
テーマ展示	黒目川のひみつ	小中学生の夏休み期間に合わせて、自由研究の一助となる展示を行う。黒目川の流路の景観をたどり、そこに棲む動植物や川と人との関わりについて、当館調査成果をまとめ紹介する。	—	7月23日(木・祝) ～8月30日(日)	中止
	朝霞市県展作品展	第70回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	—	9月12日(土) ～9月27日(日)	中止 ※県展が中止のため
ギャラリー展示	雑誌『ゴルフ』と朝霞ゴルフ場	昭和6年から15年まで刊行された雑誌『ゴルフ』に掲載された朝霞ゴルフ場の姿を資料やパネルで紹介した。	—	4月1日(水) ～6月7日(日) ※前年度継続事業 1月25日(土)～	783 ※前年度～ 6,655
	みんなあーちすと	テーマを決めた絵画作品を募集し、①ワークショップを開催するとともに、②ワークショップ参加者の部と、③本企画参加の保育園・幼稚園の部に分けて展示する。	—	①7月23日(木・祝) ～8月23日(日) ②9月5日(土) ～9月13日(日) ③9月16日(水) ～9月27日(日)	中止
	写真展～旧高橋家住宅の夏景色～	重要文化財旧高橋家住宅を調査や広報のために撮影してきた写真の中から、初夏から晩夏にかけての写真を展示した。	—	8月1日(土) ～9月27日(日)	3,313
	写真展～旧高橋家住宅の秋模様～	重要文化財旧高橋家住宅を調査や広報のために撮影してきた写真の中から、秋から冬にかけての写真を展示した。	—	10月10日(土) ～12月13日(日)	3,467
	午房地山と武蔵野台地の横穴墓	昭和30年代末頃に根岸台で見つかり、須恵器と人骨の出土が伝えられながらも、現在では失われており、その詳細が不明とされている午房地山横穴墓群について、武蔵野台地の横穴墓とともに、写真・図面パネルを中心として紹介する。	—	令和3年 2月13日(土) ～3月31日(水) ※次年度継続事業 ～6月6日(日)	
収蔵資料紹介展示	教科書ー学びとともにあるもの 明治から現代ー	明治から現代の教科書の移り変わりについて、博物館収蔵資料により紹介した。	—	8月1日(土) ～9月27日(日)	3,313
	当館における資料の三次元計測技術の試験的導入に向けての取り組みについて	当館で導入の検討を始めた収蔵資料の三次元測定について、今日までの取り組みの成果を紹介した。	—	10月10日(土) ～12月13日(日)	3,467

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数 (人)
資料紹介展示	小学校1年生博物館 利用授業関連展示 「ワタから糸へ」	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に関連して、綿から糸が出来るまでについて博物館資料により紹介する。 ※展示ケース1台による	—	①4月1日(木) ～6月7日(日) ※前年度継続事業 2月13日(木)～ ②令和3年 1月30日(土)～ 3月31日(木) ※次年度継続事業 ～6月6日(日)	① 783 ※前年度～ 6,655 ② 234 のべ 1,017
	博物館実習生展示 「①朝霞で楽しもう」 「②煮炊きの 道具たち」	博物館実習生2班が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介した。 ※展示ケース2台による	—	8月26日(水) ～9月27日(日)	1,680
生体展示	朝霞で見られる 水の生き物	ラウンジ脇にて、ギンブナやナマズ、ドジョウ、アメリカザリガニなどの生体展示を行う。	—	通年	12,535
	博物館で生まれた カブトムシ	エントランスにて、当館飼育のカブトムシの生体展示を行った。	—	7月12日(日) ～8月23日(日)	2,851
埼玉県立自然の博物館 研究発表会 共催：埼玉県立 自然の博物館	「むさしのフロントあさか」にちなんだ武蔵野台地をテーマにした講演①②及び植物・昆虫・古生物・動物の分野から研究発表③～⑥を行った。 ①足元を知ろう！ 武蔵野台地の成り立ち ②文化財に見る武蔵野の 自然と人とのかかわり -天然記念物を通して- ③新人学芸員から見た 埼玉の植物の面白さ ④セイボウの生態学 -ついに発見 絶滅危惧種 ムサシトゲセイボウ- ⑤化石からひもとく 海産貝類の進化 ⑥埼玉のネズミ事情	一般	12月5日(土) 午前10時30分～正午 講演会 ①主任学芸員 井上素子 氏 ②学芸員 木山加奈子 氏 午後1時～3時10分 研究発表 ③学芸員 鐵慎太郎 氏 ④学芸員 半田宏伸 氏 ⑤学芸員 山岡勇太 氏 ⑥学芸員 奥村みほ子 氏 いずれも埼玉県立自然の博物館	27	
歴史講座 「太田道灌状を読む」 (連続3回)	太田道灌が膝折に着陣したことが書かれた「太田道灌状」をさまざまな視点から学習する。 ①太田道灌状に見る「太田道灌」 ②太田道灌状と街道・交通 ③太田道灌状から見る陣・城	一般	①2月27日(土) ②3月 6日(土) ③3月13日(土) 各回とも 午後2時～3時30分 瑞穂町郷土資料館 学芸員 北爪寛之 氏	定員 30	
古文書講座 (連続5回)	朝霞市内に残されている古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	一般	①1月31日(日) ②2月14日(日) ③2月28日(日) ④3月 7日(日) ⑤3月14日(日) 各回 午前10時～正午 立正大学特任講師 栗原健一 氏	定員30	

事業名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加者数(人)	
博物館体験教室 (全5回)	伝統文化や歴史への興味と理解を喚起すべく、各種の体験教室を実施する。	小学生など	年間	中止	
夏休み体験教室 (全3回)	夏休み自由研究の一助となるような各種体験教室を実施する。	小学生	夏休み期間中	中止	
博学連携事業	小学校6年生 博物館利用授業	市内 近隣 小学校 6年生	1学期	中止	
	小学校3年生 博物館利用授業	市内 小学校 3年生	3学期	中止	
	小学校1年生 博物館利用授業	市内 小学校 1年生	①1月15日(金)～ 1月22日(金) 九小 ②1月19日(火)～ 2月2日(火) 二小 ③1月20日(水)～ 1月22日(金) 六小 ④1月26日(火)～ 2月2日(火) 八小 ⑤2月2日(火)～ 2月4日(木) 十小 ⑥2月4日(木)～ 2月9日(火) 一小 ⑦2月10日(水)～ 2月16日(火) 三小	7校	
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業、その参考資料となる刊行物作成等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。夏季研修会では、展示・収蔵庫見学、体験実習を実施する。	市内 教職員	主催：博物館利用 検討委員会	中止
	博物館実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れた。	大学生	8月18日(火) ～8月25日(火) 【6日間】	4大学 4
	調査 古文書調査	市内田島地区に伝残した古文書の解読を行う。		通年	—

3 刊行物・広報

刊 行 物	『丸沼芸術の森コレクション「朝霞にファン・ゴッホ！ー日本初公開の水彩画に観るファン・ゴッホの新たな魅力ー」ファンゴッホ、シスレー、シャガール、珠玉の三選特別展示』	ポスター 300部（令和2年12月11日発行） チラシ 5,000部（令和2年12月11日発行） チラシ増刷 3,000部（令和3年1月14日発行）
	『ギャラリー展示 午房地山と武蔵野台地の横穴墓』	パンフレット 1,000部（令和3年2月13日発行）
	『朝霞市博物館調査報告書 第10集 旗本富永氏関連文書』	500部（令和2年3月31日発行予定）
広 報	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供を行う。 また、「広報あさか」及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を発信するなど、広報に努める。	記者発表：2件（丸沼展開催、丸沼展延期） 新聞社：6件 テレビ・ラジオ：1件 雑誌・情報誌等：2件 広報あさか：毎月号 ホームページ：随時更新 メール配信サービス登録者：随時

4 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休館 4月2日(木)～5月25日(月)【54日間】
- (2) 館内くん蒸による臨時休館 6月12日(金)～6月18日(木)【7日間】
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による影響

①展示・体験教室の中止：展示5本、博物館体験教室・全5回、夏休み体験教室・全3回

②代替展示の実施：ギャラリー展示2本、収蔵資料紹介展示2本

③講座開催時の感染症拡大防止対策の実施

- ・定員を半分以下にする：講座室・体験学習室一体で実施。80人→30人
- ・座席の間隔を保つ：イス間隔1.5m。
- ・換気：常時部屋の窓およびドアを開放。
- ・【3月下旬】加湿器の設置

④臨時休館後開館時の感染症拡大防止対策の実施

- ・5月26日(火)～掲示物による周知、消毒液の設置

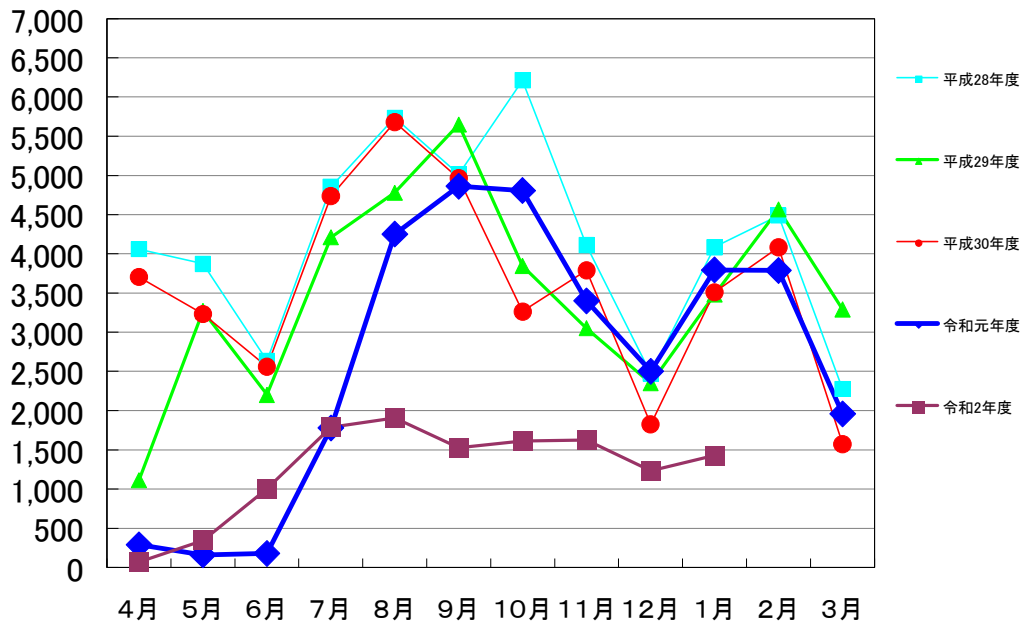
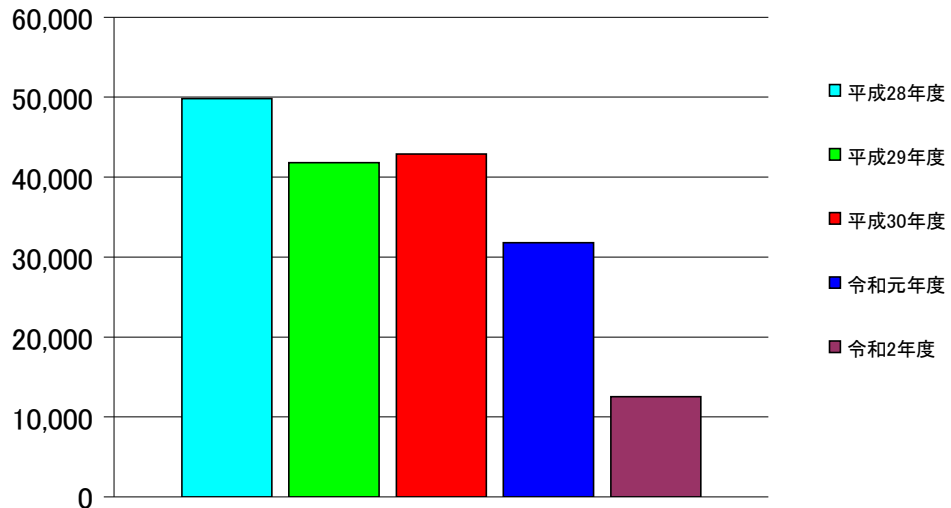
利用の制限(1)図書室・映像コーナー使用不可、イス全撤去、チラシラック撤去、展示室
ハンズオン・タッチパネル等稼働不可、冷水器使用不可、団体不可

- ・5月30日(土)～来館者アンケート撤去
- ・6月20日(土)～展示監視員雇用（～12月31日(木)予定）：来館者への注意喚起、定期消毒
- ・6月25日(木)～利用の制限(2)ラウンジイス（ソファの代替）2脚設置、チラシラック設置
- ・7月11日(土)～利用の制限(3)映像コーナー使用可（イス2脚）、ラウンジ机1&イス1×3セット設置、
展示室おはなしポール設置（座席2箇所）、タッチパネル等稼働可（展示監視員が随時清掃）
- ・7月28日(火)～LINE埼玉コロナお知らせシステム登録
- ・10月1日(木)～利用の制限(4)図書室使用可（机1&イス2横並び・机にアクリルパネル設置）、博物館
関連3団体利用可

【現在の利用制限】ハンズオン展示撤去、冷水器使用不可、ラウンジ机減少、ラウンジ・図書室・映像コーナー・展示室座席減少、団体見学不可

利用統計 平成28年度～令和2年度(令和3年1月末現在)

年数	21			22			23			24			25		
	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
年度	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数	開館日数	入館者数	平均入館者数
4月	25	4,060	162	7	1,112	159	25	3,705	148	0	289	—	1	69	69
5月	24	3,872	161	25	3,270	131	25	3,232	129	0	159	—	6	345	58
6月	19	2,635	139	19	2,202	116	19	2,560	135	0	179	—	18	1,001	56
7月	27	4,856	180	26	4,212	162	26	4,737	182	10	1,779	178	27	1,787	66
8月	25	5,735	229	27	4,780	177	27	5,679	210	27	4,251	157	25	1,906	76
9月	25	5,015	201	26	5,650	217	26	4,963	191	24	4,864	203	25	1,524	61
10月	25	6,214	249	25	3,846	154	26	3,264	126	27	4,807	178	26	1,615	62
11月	24	4,110	171	26	3,050	117	26	3,789	146	26	3,399	131	23	1,624	71
12月	22	2,472	112	21	2,348	112	22	1,825	83	22	2,501	114	22	1,235	56
1月	22	4,084	186	22	3,481	158	22	3,510	160	22	3,794	172	23	1,429	62
2月	23	4,489	195	23	4,569	199	23	4,082	177	23	3,789	165			
3月	19	2,277	120	25	3,290	132	13	1,573	121	25	1,959	78			
	280	49,819	178	272	41,810	154	280	42,919	153	206	31,770	154	196	12,535	64



令和 3 年度事業計画

1 令和3年度事業計画

事業名		趣旨・内容	日程
常設展示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	通年
	民俗分野 「むかしの暮らし」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について紹介する。	4～6、12～3月
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。	※企画展・テーマ展示 開催時は撤収・入替
第35回企画展 「はまさき」(仮称)		朝霞市内でも旧浜崎村の範囲に限り、その地域の歴史を、主に埋蔵文化財から通史的に概観する。なかでも近年、特徴的な遺物の出土が相次いだ弥生時代に焦点を当てる。	10月9日(土) ～11月23日(火・祝)
テーマ展示	夏のテーマ展示	小中学生の夏休み期間に合わせ、自由研究の一助となる展示を行う。	7月22日(木・祝) ～8月29日(日)
	朝霞市県展作品展	第70回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	9月11日(土) ～9月26日(日)
ギャラリー展示	午房地山と武蔵野台地の横穴墓	昭和30年代末頃に根岸台で見つかり、須恵器と人骨の出土が伝えられながらも、現在では失われており、その詳細が不明とされている午房地山横穴墓群について、武蔵野台地の横穴墓とともに、写真・図面パネルを中心として紹介する。	4月1日(木)～6月6日(日) ※前年度継続事業 2月13日(土)～
	みんなあーちすと	①夏休み期間に合わせてワークショップを催し、来館者による自由な絵画作品づくりの場を提供する。作品については、②ワークショップ参加者の部、③本企画参加の保育園・幼稚園の部を設けて展示する。	①7月22日(木・祝) ～8月22日(日) ②9月4日(土) ～9月12日(日) ③9月15日(水) ～9月26日(日)
	冬のギャラリー展示	朝霞の歴史・民俗・美術に関わるテーマで、写真パネルを中心とした展示を行う。	令和4年1～6月 次年度に継続
資料紹介展示		収蔵資料の展示コーナーを常設展示室やエントランス等に設け紹介する。 ①ワタから糸へ、②博物館実習生展示、③ワタから糸へ(予定)	①4月1日(木) ～6月6日(日) ※前年度継続事業 1月30日(土)～ ②8～9月 ③2～6月 次年度に継続
生体展示		①コイ・フナ・ドジョウ・アメリカザリガニなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行う。②夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。	①通年 ②7～8月

事業名		趣旨・内容	日程
歴史講座（連続3回）		朝霞や周辺地域における郷土史について学習する。 対象／定員：一般／各回40人	1～3月 講師：大学教授等
古文書講座（連続6回）		朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。 対象／定員：一般／各回40人	12～3月 講師：大学講師等
博物館体験教室（全5回）		体験学習をとおして、郷土史や伝統文化への興味と理解を育てる。 対象／定員：各回ごとに設定	4～3月 講師：専門技術団体 当館学芸員等
夏休み体験教室（全3回）		小学生を対象とした体験学習を行い、郷土の自然・歴史への関心を喚起するとともに、夏休み自由研究の一助とする。 対象／定員：小学生／各回ごとに設定	7～8月 講師：専門技術団体 当館学芸員等
博学 連携 事業	小学校6年生 博物館利用授業	歴史学習を始める小学校6年生を対象に、調べ学習、体験学習などの博物館利用授業を行う。	体験教室 4～6月 (学校の希望日)
	小学校3年生 博物館利用授業	郷土学習を始める市内小学校3年生を対象に、調べ学習、体験学習などの博物館利用授業を行う。 ※バス借上げによる来館児童送迎あり(教育指導課予算)。	3学期 (学校の希望日)
	小学校1年生 博物館利用授業	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に伴う糸車体験教室を行う。 ※出張授業	3学期 (学校の希望日)
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業、その参考資料となる刊行物作成等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。 主催：博物館利用検討委員会	定例会 6・2月 研修会 7～8月 講師：当館学芸員
	博物館実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。 ※定員：6人	8月17日(火) ～8月24日(火)
調査	古文書調査	市内田島地区に伝残した古文書の解説を行う。	通年